

『にほんごをまなぼう』 5課復習、6課指導教案(例) 「体」

学 齢	小1~中3	テキスト	『にほんごをまなぼう』(ぎょうせい)
備考	安全・健康に関わり、緊急な対応が求められる内容なので、母語での説明ができればする。		
クラスサイズ	2~3名 (漢字・非漢字圏混合)		

学習目標			
1) L5復習「~しましょう」 2) どうしたの？ 3) 身体の不調が言えるように。安全・健康に関わる表現なので文法の正確性にこだわらない。 4) Nがイ Adj です。イ Adj んです(痛いんですー自己主張、状況説明) 5) V ました。V ませんでした。 6) V ます形の整理まとめ 7) 濁音と拗音			
準備: 動詞カード、ひらがなカードで濁音、拗音を含むものだけ選んでおく			
学習語彙			
きもちがわるい	기분이 나쁘다	我是病。	ฉันป่วย.
かゆい	가렵다	发痒	คัน
くるしい	괴롭다	痛苦	เจ็บปวด (痛みを伴う苦しみ、痛い)
はきけがする	입이 부상 한다	恶心	อาการคลื่นเหียน
さむけがする	오한이 난다	冷颤, 颤抖	Dสะท้าน

2時間授業(前半:会話、後半:文字)で実践した活動例

内容
おはようございます。
「起立、礼、着席」出席を取ります。
導入
宿題の確認:L5 施設の名前の穴埋め。K 君 P13 穴埋め
5課の復習 ~ましょう
板書 「~ましょう」 P22 信号(あるいは絵カード) 青を指して「青です。わたりましょう。」「赤です。わたりません。」 P11 を見せて、T「サッカーを…」ー促す、T「プールで…」P9 を見せて T「給食をたべ…」(促す) 絵カード(飲みます、読みます、見ます、書きます、寝ます) T: よくできました。(ほめ、達成感を確認する)

展開
6課 身体の部位と不調
<p>T 自分をつねって「痛いです」 T ぎゅーっとつねって「お母さん、痛いんです」「先生、痛いんです」 書いてみせる。 「痛いです」 「先生、痛いんです。」</p>
P24 気持ちが悪い、かゆい、くるしい、はきけがする
T「本を開きましょう」(P24 を開いて復唱。絵と音がマッチすればひらがなを読めなくても OK)
<p>T ジェスチャー S「せんせい、どうしたの」 T ジェスチャー「かゆいんです」 T「(XX)くん、どうしたの」(P24 の絵を指す) S「痛いんです」 T「どこが痛いんですか」 (様子を見て、P27 も導入する。) ロールプレイで全員練習。</p>
P25 過去形 Vました。Vません
<p>つづけて P25 を読む。 「どうしたの？」 (こんこん)「風邪をひきました」 「どうしたの？」絵を指しながら「けがをしました」 「どうしたの？」絵を指しながら、「血が出ました」 板書 ~ました。 P9 の絵 食べます→食べました ジェスチャー(コップ) T「飲みます」できるだけ促す「飲みました」 もう一度 P25 血が出ました</p>
、P27
「これは、何ですか」(目を指す)
まとめ
動詞活用表に記入(時間がなかったら宿題にする)
10 分休憩

後半(2時間目) 濁音(つづき)
導入
<p>ディクテーション</p> <p>ひらがなカードで濁音を含むものだけ選んでおく</p> <p>一枚引いて、見せる、読む</p> <p>書かせる。</p>
拗音
<p>ひらがなカードを確認しておくこと</p> <p>既出の単語</p> <p>ディクテーションの続き</p> <p>ちやくせき、きょうかしよ、ちゃいろ、だいじょうぶ、ほどうきょう、でんしゃ、びょういん、ちゅうごく、しんちょう、たいじゅう、きゅうしよく</p>
まとめ
宿題を指示
記録帳記入、引継ぎ